

各 府 省 イ ン タ ー ン シ ッ プ 課 題 一 覧

府省名	課題番号	課題	課題の詳細	受入人数	受入部局	受入期間	受入月日	備考
防衛省	防衛-1	国際的な安全保障環境改善のための取組み	<p>防衛力の主要な役割の一つとして、国際的な安全保障環境の改善のための主体的・積極的な取り組みがある。防衛省・自衛隊はこのため、国際平和協力活動や安保対話・防衛交流を積極的に推進することとしている。そこで、今後の国際平和協力活動と防衛交流のあり方、それらの考え方を具体化するにはどうすべきか、などについて研究を行う。</p> <p>その際、関係機関や内部部局職員によるブリーフィングのほか、必要に応じて自衛隊の部隊研修、防衛省・自衛隊広報施設の訪問・見学などの機会を設け現場を肌で感じる機会を提供する。</p>	5~10名	大臣官房秘書課	約2週間	8月~9月	
	防衛-2	防衛力整備と防衛装備品	<p>防衛力整備は短期間にはなしえず、例えば戦闘機やミサイル、護衛艦などの装備品の研究開発や導入は計画的かつ継続的に行う必要がある。そこで、まず、防衛力がどのように整備されているか、また、こうした装備品がどのように研究、開発、生産、維持されているかを概観する。そのうえで、これからの日本の防衛生産・技術基盤を充実強化していくうえでどのような課題があるか、について研究を行う。</p> <p>その際、関係機関や内部部局職員によるブリーフィングのほか、必要に応じて自衛隊の部隊研修、防衛省・自衛隊広報施設の訪問・見学などの機会を設け現場を肌で感じる機会を提供する。</p>	5~10名	大臣官房秘書課	約2週間	8月~9月	
	防衛-3	防衛省・自衛隊の広報活動	<p>自衛隊の活動に対する国民の理解を得るには、平素からの積極的な広報が不可欠である。また、近年の自衛隊の海外における活動の活発化に伴い、海外からの関心も高まっている。そこで、防衛省の政策や自衛隊の実態をより良く国民に理解してもらうにはどうすべきか、より効果的に海外に情報発信するにはどうすべきか、について研究を行う。</p> <p>その際、関係機関や内部部局職員によるブリーフィングのほか、必要に応じて自衛隊の部隊研修、防衛省・自衛隊広報施設の訪問・見学などの機会を設け現場を肌で感じる機会を提供する。</p>	5~10名	大臣官房秘書課	約2週間	8月~9月	